

開講日	2010年4月期 水曜日 18:30-20:30	講義場所	研究棟11階講義室B	医	技	保
				●	●	○
コーディネーター	ウイルス学・中央臨床検査部 教授 田中 靖人			※●:コア科目、○:選択科目		

科目概要 および 期待される 成果	【概要】いったん臨床現場を離れた医師、臨床検査技師、看護師などを対象に各種検査の基本的な理解を深め、現場復帰を促すカリキュラムです。基礎コースからはじまり、それぞれの目的に即した応用コースを受講することにより、各種検査に関する専門的な知識のみならず、それぞれの検査の臨床的有用性を習得されたい。一部のコースでは、実習も行う予定です。 【期待される成果】実際の診断に役立つ各種検査に関する知識を得るために最低限必要な講義内容を厳選しており、実際の臨床の場ですぐに生かせるように、医療職及び医療に間接的に携わる方の復帰を支援します。
目標とする 資格	

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
検査～基礎コース	1	腹部超音波検査の取り方・見方(実習)	腹部領域(肝、胆、脾、消化管など)の病変の有無を拾い上げる目的で、侵襲なくベッドサイドで行うことが可能な検査である。スクリーニング検査としてのテクニックを習得する。	4月7日	教授 田中 靖人 ウイルス学・中央臨床検査部
	2	呼吸器診療の入り口ー胸部X線	呼吸器疾患の発見動機は、咳や息切れなどの自覚症状の他に、しばしば胸部X線の異常陰影による。胸部X線写真には様々な陰影が写し出され、非常に情報が多い。異常陰影を見逃さないための基本的読影方法を解説する。	4月14日	病院講師 前野 健 呼吸器内科
	3	心電図の読み方 これだけは見逃さない	心電図の有用性と限界について学習し、正常心電図を理解するとともに、専門医に紹介すべき心電図異常、治療を要する不整脈を判読できるようにする。	4月21日	准教授 土肥 靖明 循環器内科
	4	X線CT検査の基本と実践	CTは連続する断層画像であり、単純X線写真と比較し、読影の難易度は決して高くはない。一方、画像再構成や表示条件に関する基本的知識なくしては、大きな落とし穴が存在する。今回はCT読影基本について臨床症例を交えて紹介する。	4月28日	准教授 原 真咲 中央放射線部
	5	知っておきたい検尿・尿沈渣データ～慢性腎臓病とは？	腎機能のみならず体内に過剰に産生された血中の物質も排泄され、病期の初期診断においては尿の定性検査及び尿沈渣は必須であり、その臨床的意義を学習する。また、最近注目されているCKD(慢性腎臓病)についても学習する。	5月12日	准教授 吉田 篤博 人工透析
検査～応用コースⅠ	6	血液像・骨髄像の見方	一枚の血液標本、骨髄標本を検鏡することにより、病気の診断、治療、管理などに必要な多くの情報を得ることができる。血液像および骨髄像の正しい見方を学習する。	5月19日	講師 石田 高司 血液・膠原病内科
	7	微生物検査:グラム染色	検体採取からグラム染色、培養検査など臨床微生物検査の方法を解説し、実際の臨床診断に至る過程を学習する。特に、グラム染色の実技指導を行う。	5月26日	講師 立野 一郎 細菌学
	8	消化器診療の入り口ー消化管造影検査・読影	バリウムなど造影剤を用いて食道・胃・十二指腸・大腸の病変を描出し、その良・悪性の鑑別、病型の決定、病変の範囲の決定、進捗度の推定などを実際の症例で解説する。	6月2日	講師 神谷 武 消化器内科
	9	頸部の超音波検査	甲状腺、副甲状腺および頸動脈の正常像を理解する。甲状腺では結節性病変の鑑別診断、甲状腺機能亢進症や低下症の各疾患の特徴的所見、頸動脈では動脈硬化所見の把握を目的とする。	6月9日	准教授 岡山直司 代謝・内分泌内科
	10	心臓超音波検査	心エコー法を用いた左室収縮能・拡張能の評価法および臨床への行かし方、特に心不全患者管理への応用について解説します。これにより、心不全患者管理の質の向上が期待されます。	6月16日	准教授 大手 信之 CCU
検査～応用コースⅡ	11	上部消化管内視鏡検査	X線検査では描出困難な部位や病変部の詳細な情報(微細な粘膜の凹凸や粘膜の色調変化など)を得ることができ、また生検によって確定診断が可能となる。実際の症例で解説する。	6月23日	准教授 片岡 洋望 内視鏡部
	12	脳のCTとMRI検査	症例に基づいて、脳血管障害・神経変性疾患における画像検査を概説する。神経疾患患者を対象とした日常診療において、“すぐに使える有用な知識”を身につけることを目標とする。	6月30日	准教授 松川 則之 神経内科学
	13	めまい診療における検査と実際	めまいは日常診療において頻度が高く、救急で遭遇する機会も高い症状のひとつである。本コースでは侵襲がなく簡便なフレンツェル眼鏡を用いて眼振所見をとり、めまいの簡単な診断・治療ができることを目的とする。	7月7日	病院准教授 渡邊 暢浩 耳鼻咽喉科
	14	婦人科領域の超音波検査	婦人科領域の中でも婦人科腫瘍の超音波画像を提示し、多種に及ぶ腫瘍性疾患の特徴を紹介する。特に、卵巣癌の診断に重点を置き、手術適応の有無を判断できる能力を習得する。	7月14日	病院准教授 荒川 敦志 産婦人科
	15	乳がんの基礎知識	乳がんについて医療従事者として知っておきたい基礎知識について学習する。特に乳がんの診断方法とがんのタイプに応じた適切な治療方法について理解する。	7月21日	准教授 遠山 竜也 乳腺内分泌外科